

令和3年10月27日

令和3年度 第3回全国健康保険協会福岡支部評議会

参考資料2

令和4年度福岡支部事業（案）

1. 医療費適正化対策事業（案）

1. 医療費適正化対策事業（案）

案1 事業所訪問等によるジェネリック医薬品使用促進等勸奨業務（継続事業）

事業所ごとの健康づくり等に関する指標を情報提供し、現状把握をしていただいたうえで、ジェネリック医薬品使用促進、健診受診率向上等を図るための文書・電話・勸奨を実施する。

実施予定件数：電話勸奨 3,000件
電話&訪問勸奨 500件

予算規模：880万円程度

郵便番号
住所
事業所名称
健康保険事務 御担当者 様
シーケンス番号
全国健康保険協会福岡支部

協会けんぽのサービスのご利用状況について（情報提供）

平素より、当協会の事業運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、高齢化の進展等により国民医療費は増大し、福岡支部の健康保険料率は10.22%（全国平均10.00%）と、全国平均より高い状況が続いています。
このような状況を改善すべく、当協会では各職場における健康づくり等を推進いたしております。
つきましては、貴事業所における当協会のサービスのご利用状況を以下のとおり情報提供させていただきます。職場内の健康づくりの推進にご活用していただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

	健康づくり等に関するサービス	貴事業所の状況	同社の『協会けんぽのサービス一覧』参照ページ
①	ふくおか健康づくり団体・事業所宣言登録有無（R3.8月時点）	登録あり	PI 6.1.7
②	令和2年度の被保険者の健診（生活習慣病予防健診）の利用有無	利用あり	PI 1.1.2
③	令和2年度の特定保健指導の利用有無	対象者なし	PI 4.1.5
④	健康保険委員の登録有無（R3.8月時点）	登録なし 【福岡支部登録者数：****人】	PI 8
⑤	ジェネリック医薬品使用割合（R2.10月時点）	80.0% 【全国：79.6% 福岡：80.5%】	PI 9

（お問合わせ先）
全国健康保険協会福岡支部 TEL 092-283-7621（自動音声案内）
上記①・④・⑤：（企画総務グループ）ダイヤル②ー⑤をプッシュ
②・③：（保健グループ）ダイヤル②ー③をプッシュ

1. 医療費適正化対策事業（案）

案2 メンタルヘルス対策セミナー（継続事業）

加入者・事業主の関心度が高いメンタルヘルス対策に関するセミナーを開催する。

（福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市との共催）

開催予定回数：県内4回

予算規模：46万円程度

<参考>

《令和元年度》

○会場開催（県内4会場） 915名参加

○講演内容

- ①「働き方改革とメンタルヘルス対策」
- ②「職場（実践）で役立つところの健康づくり」

《令和2年度》

○新型コロナウイルス感染症の影響により中止

《令和3年度》

○会場開催（県内4会場）に加え、Zoomによる動画配信を実施

○講演内容

- ①「コロナ禍におけるメンタルヘルス対策」
- ②「職場内におけるところとからだの健康づくり」



1. 医療費適正化対策事業（案）

案3

健康保険委員専用ホームページを活用した健康保険委員活動の強化（継続）

健康保険委員への情報提供の充実化と利便性の向上を図るため、専用ホームページを開設する。

【各種情報提供】

＜紙媒体＞ ⇒ 電子媒体を併せて提供

① 専用広報誌「KENPO'S通信」（5回程度／年）

⇒情報提供の迅速化等

② 協会けんぽのしおり（冊子）（1回／年）

⇒年度途中での制度改正など柔軟に対応等

＜研修会（集合研修）＞ ⇒ 研修会動画を併せて掲載（予定）

③ 健康保険サポーターゼミナール

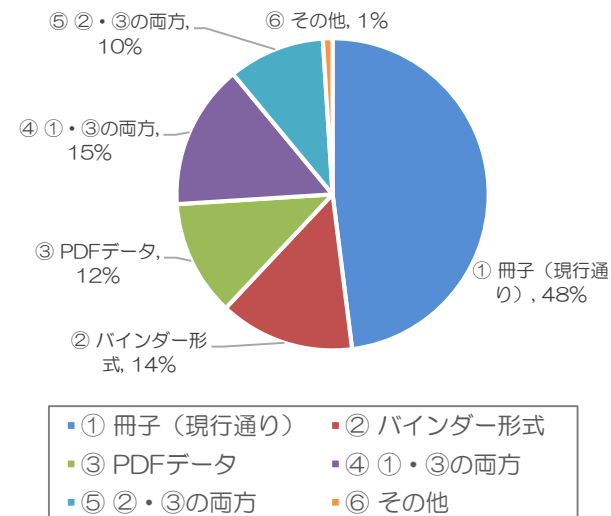
⇒感染症対策となり、受講の利便性も向上

※メンタルヘルス対策セミナー（労働局主催）については、今年度はオンラインでの開催も予定しているが、本ページでの動画掲載は予定していない。

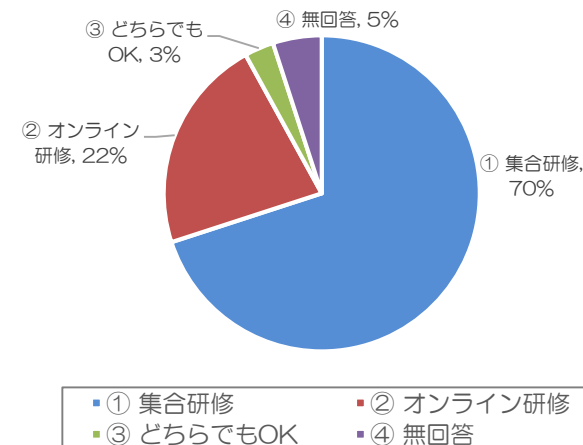
対象者：健康保険委員約8,500人

予算規模：90万円程度

【協会けんぽのしおりの提供方法】（アンケート）



【研修会の実施方法】（アンケート）



2. 広報・意見発信事業（案）

2. 広報・意見発信事業（案）

案1 医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」（継続事業）

将来の健康保険制度を担う次世代層の小学5年生及び
中学2年生（福岡県内全域）を対象に、健康や医療費
をテーマとした「かべ新聞コンクール」を実施する。

- 小学5年生は「健康づくり」を主テーマとし、学校
や家族ぐるみで健康について考えるきっかけ作りと
する。
- 中学2年生は、「医療保険制度」や「医療費」を主
テーマとし、制度の持続性確保のために必要な取り
組み（医療費適正化等）について考えるきっかけ作
りとする。
- 教育委員会の後援等をもとに、県内の小・中学校に
広く広報し、応募件数の増加等を図ることで、本事
業の実効性の向上につなげる。

募集対象者：約90,000人

小学5年生：約46,000人

中学2年生：約44,000人

予算規模：1,370万円程度

<第2回 健康かべ新聞コンクール 表紙>

